

# あげお 学びのイノベーション

## 推進プラン



### 活用する



#### ステップ③

目標☞児童生徒自ら必要に応じて活用

- 児童生徒も教師も、必要な時に活用
- デジタル、アナログの自由な選択

令和5年度

### 慣れる

#### ステップ②

目標☞1日に2~3回活用

- 発表や話し合い ○意見整理 ○協働制作

「ICT端末の効果的な活用推進」&「情報モラル教育の充実」

★ICT端末を活用した授業研究会の実施

★情報モラル教育研修会の実施

★学校ICT支援員の派遣 ★クラウド活用の促進



令和4年度

### 触れる

#### ステップ①

目標☞1日に1~2回活用

- 記録を残す ○調べる ○学習内容の定着を図る
- 「従来の授業手段の代替的活用」

★情報教育推進者の育成 ★ICT端末利用規定等の作成

★「AGEO・オンライン・トライアル」の実施

令和3年度



- 学習者用パソコン・充電保管庫・モバイルルーター・ネットワーク等の設置・整備に関すること  
上尾市教育委員会教育総務部教育総務課 775-9469
- 授業における活用に関すること  
上尾市教育委員会学校教育部指導課 775-9672



上尾市教育委員会

令和4年度

# あげお 学びのイノベーション



上尾市は、G I G Aスクール構想により  
今までの教育実践×最先端のICTで  
新たな学びを創り出します！

## G I G Aスクール構想とは

G I G Aとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子供たちの未来を見据え、一人一台分のコンピュータ端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する取組です。令和元年12月に文部科学省から打ち出されました。



## 上尾市小・中学校の充実したICT環境

### 学習プラットフォーム

Google Workspace for Education Fundamentals

### まなびポケット



### 授業支援システム 「school Takt」

### 文科省「MEXCBT」 オンラインドリル



### 大型モニタ

Wi-Fi

校内無線LAN・高速ネットワーク  
(各教室・特別教室・体育館)



学校メール  
配信システム

指導者用デジタル  
教科書

充電保管庫  
(各教室)



ICT端末(学習者用・教師用)

学校ICT支援員の学校派遣(週に1回)

遠隔学習用機器  
(マイク付きカメラ各校11台)

児童生徒  
1人1アカウント配付

家庭用貸出  
モバイルルーター

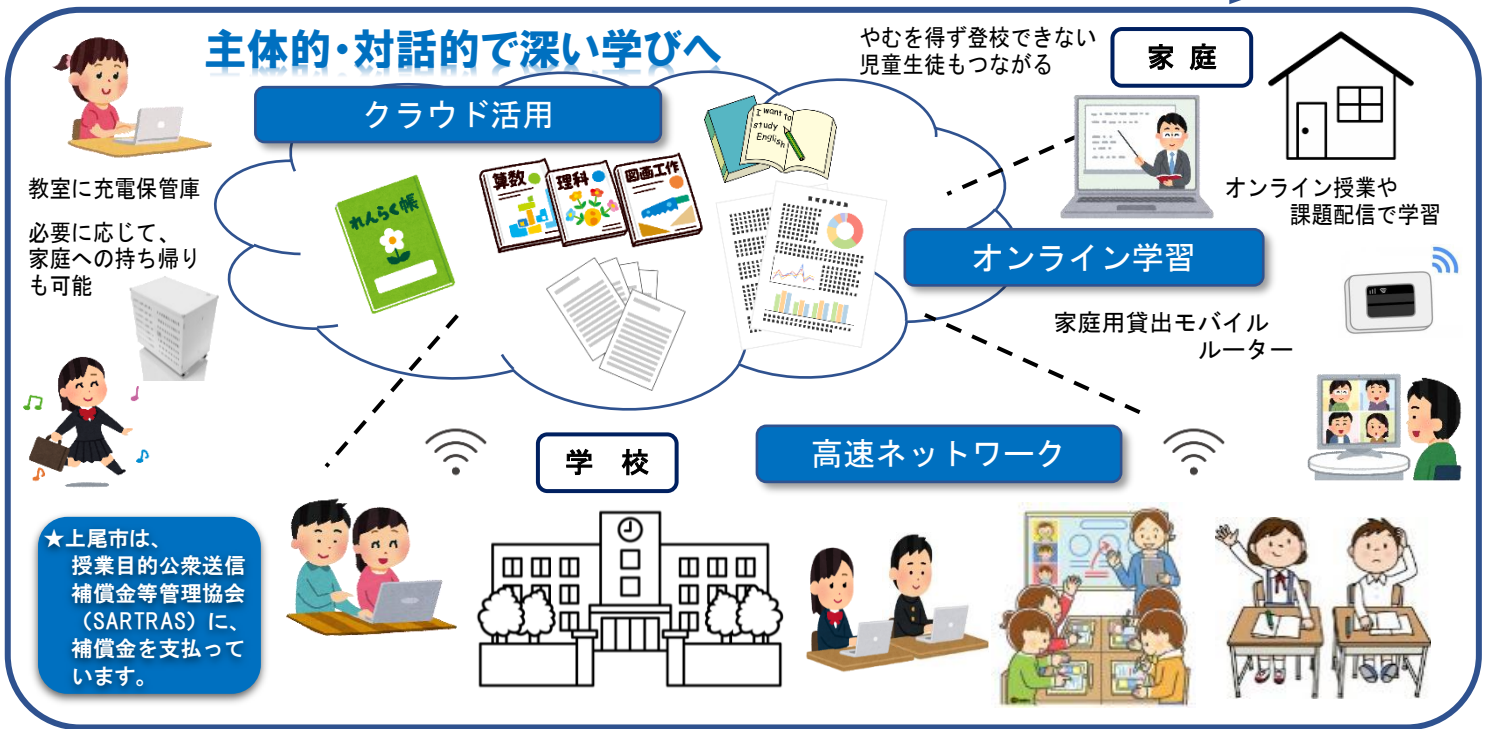


Web会議システム等を活用し、同時  
双方向型の学習等に活用できます。



上尾市教育委員会

# 新しい学びの環境



## Google Workspace for Education Fundamentals でできること



## まなびポケットでできること

### eboard 個別学習で eboard

- ★特徴⇒ 学習内容の定着や学び直しができます。オンラインドリルを進めながら、つまづいた時に映像教材を活用できます。
- ★機能⇒ 個別学習支援、映像学習、オンラインドリル、プリント教材
- ★教科⇒ 国語(漢字)、社会、算数・数学、理科、英語

### 協働学習で schoolTakt schoolTakt

- ★特徴⇒ 教師が動く教材を作成することができます。教師が児童生徒の学習を把握したり、児童生徒が互いの考えを共有し学び合ったりすることができます。
- ★機能⇒ 協働学習支援
- ★教科等⇒ 国語、社会、算数・数学、理科、英語、プログラミング等

### 学びの保障オンライン学習システム MEXCBT

- ★文部科学省が開発した「デジタル学習システム」です。登録された問題集に自由に取り組むことができます。



# ICTを活用した授業づくり



## 手順1 授業のねらいを明確にして、3つの視点から授業を組み立てる

### 授業の組み立てに必要な3つの視点

何を学ばせるか

どのような力を身に付けさせるか

どのような学ばせ方が望ましいか

事前にアンケートをとりたいな。そして、より多くの考えを知る(把握する)方法あるかしら？



授業の組み立て(例)

**導入**  
課題の把握  
学習の見通し

**展開**  
自分で考える  
他者と協働する等

**まとめ**  
学習の振り返り  
学習内容の定着

## 手順2 授業場面に応じたICT活用の検討

◇手順1で組み立てた授業「導入」「展開」「まとめ」における各取組において、授業のねらいを達成するために効果的なICT活用を検討する。

〈ある1時間の学習過程例 ~Google Workspace for Education Fundamentalsを活用~〉

(T) 教師 (S) 児童生徒

**導入**  
課題の把握  
学習の見通し

**展開**  
自分で考える 他者と協働する等

**まとめ**  
学習の振り返り  
学習内容の定着

### 活用例

#### フォーム

Classroomに入る。  
↓  
(T) フォームのリンクを投稿。  
↓  
(S) 本時の課題に関わる質問について回答。  
↓  
(T) フォームの結果を全体に提示。

#### ドキュメント

(S) 本時の課題について、自分の考えをドキュメントにまとめる。  
  
インターネット上の資料や教科書の挿絵などを取り込んで、考えの根拠となるものを整理する。

#### Jamboard

(S) 自分の考えをデジタル付箋紙に書き、共有スペースに投稿し、他者の意見と比較す

#### スライド

(S) 他者の意見と比較しながら、自分の考えを再考し、スライドにまとめる。

#### スライド

(S) スライドを提示しながら発表し、クラス全体で内容の確認を行う。

#### フォーム

(S) 本時の振り返りを行い、自己評価を記述・回答。  
(T) 定着の見届け実施。

ICTは使うことが目的ではありません。あくまでも授業のねらいを達成するために使用し、活用するものです。

教師が児童生徒の学習状況を適切に把握し、その場で補充学習に繋げることなど、ICT端末を活用するメリットを生かしつつ、これまでの効果的な指導方法と組み合わせ、不易と流行のバランスをとることが大切です。

